

青ヶ島の火山活動解説資料（令和2年12月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1、図2）

手取山監視カメラ¹⁾及び尾山展望公園監視カメラ（ともに丸山の北北西約1km）による観測では、噴気は認められません。また、丸山西斜面とカルデラの西側内壁に引き続き地熱域が認められていますが、特段変化はありません。

1) 手取山監視カメラは、11月中旬から障害となっていました。12月9日に復旧しました。

・地震や微動の発生状況（図3-①）

青ヶ島付近を震源とする火山性地震、火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図3-②、図4、図5）

傾斜計による観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。



図1 青ヶ島 丸山周辺の状況（12月12日 手取山監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（令和3年1月分）は令和3年2月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。

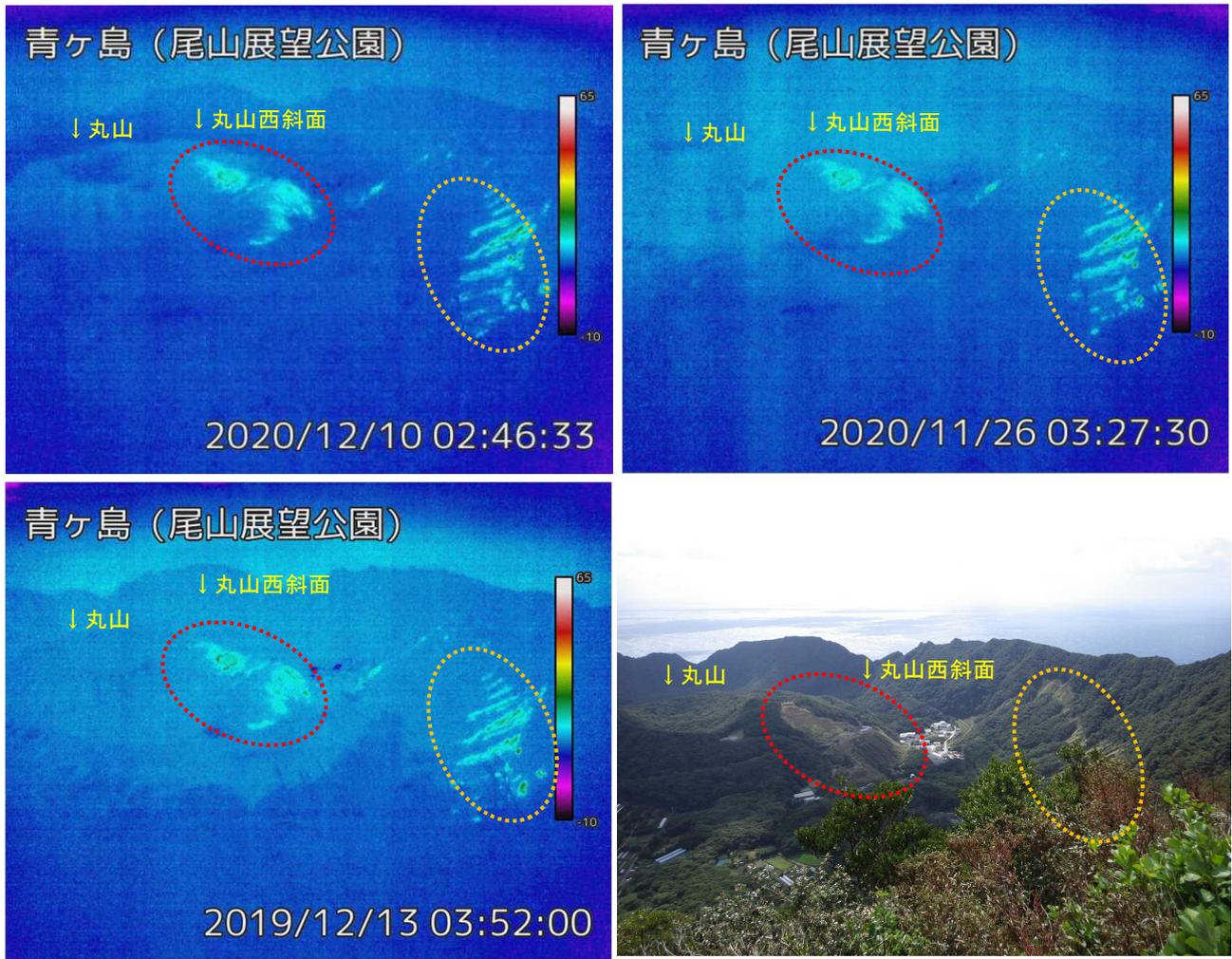


図2 青ヶ島 カルデラ内の地表面温度の状況
 (左上, 右上, 左下: 尾山展望公園監視カメラによる、右下: 2016年3月15日に撮影した同場所からの写真)
 ・地熱活動 (赤点線及び黄色点線で示した範囲) に変化は認められません。

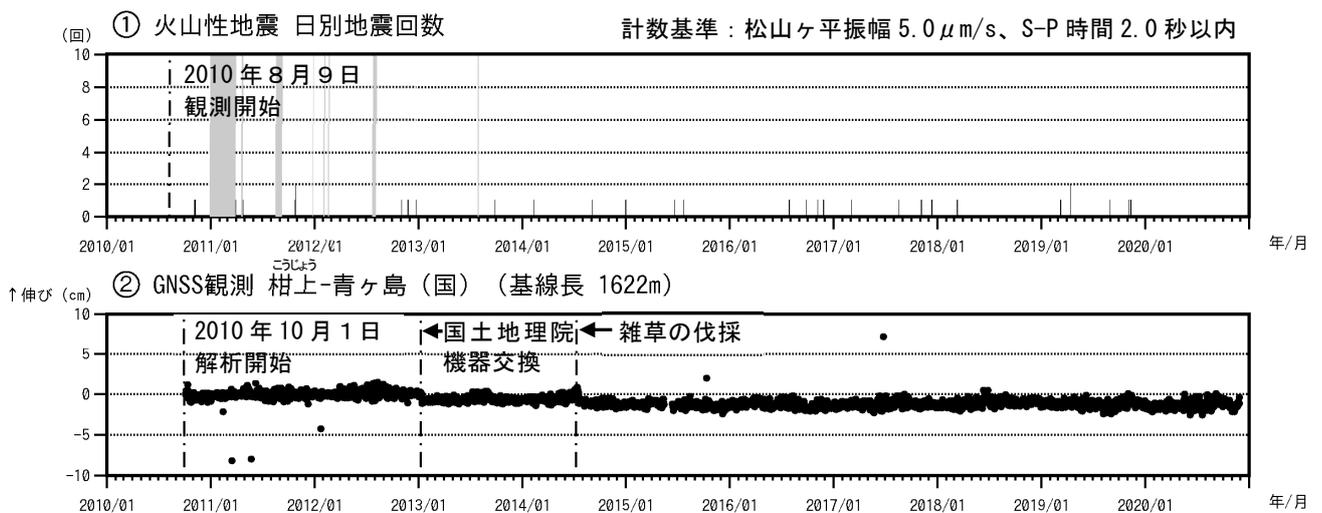


図3 青ヶ島 火山活動経過図 (2010年8月9日~2020年12月31日)

- ① グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示す。
- ② (国): 国土地理院、図5のGNSS基線②に対応。グラフの空白部分は欠測を示す。柑上観測点は2020年11月末から欠測となっています。

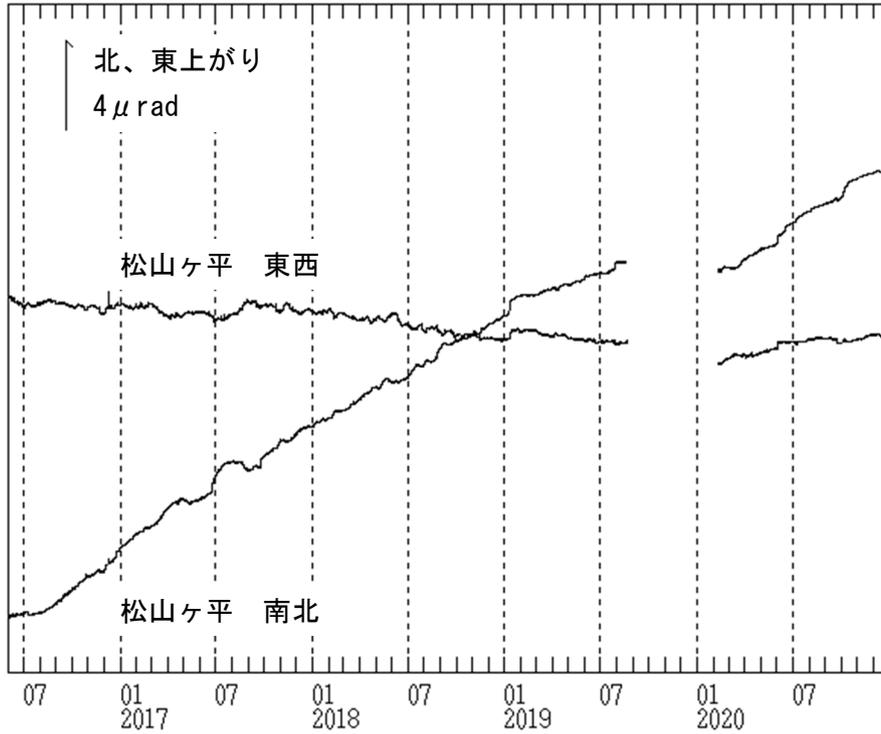
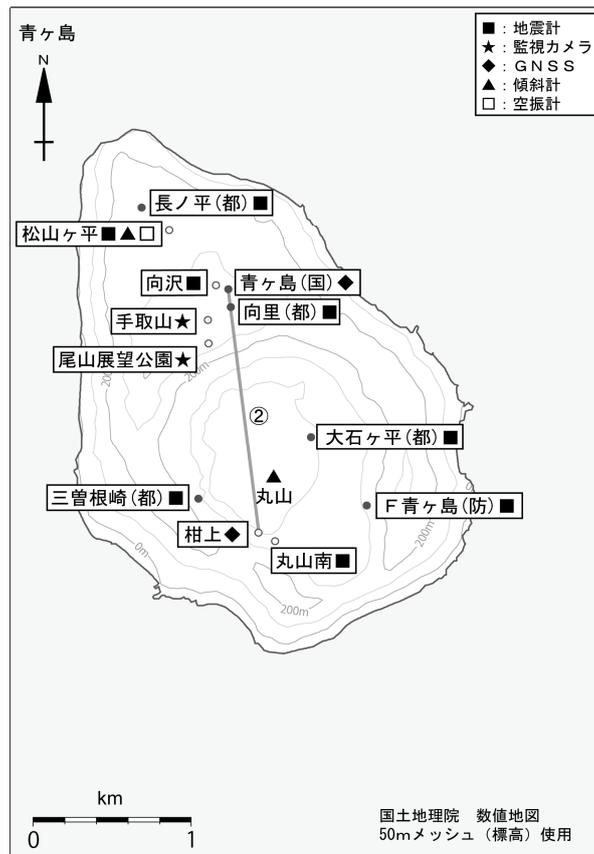


図4 青ヶ島 松山ヶ平観測点における傾斜データ（2016年6月1日～2020年12月31日）
 グラフの空白部分は欠測を示す。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

図5 青ヶ島 観測点配置図

(国)：国土地理院、(都)：東京都、(防)：防災科学技術研究所
 GNSS 基線は図3の②に対応しています。